

第5章 計画の目標

1. 計画の目標

本計画では、「おもてなしのやまなし観光振興条例」に規定された目的を踏まえ、今後4年間の本県の観光振興の総合的な目標を次のとおり設定します。

(計画の総合的な目標)

やすらぎと感動の山梨

県民の温かな接待や、地域固有の美しい景観や地域の特産物、伝統芸能などで旅行者をもてなす「山梨ならではのおもてなし」により、旅行者にやすらぎや満足を超えた感動を与えられる山梨県を目指します。



また、この総合的な目標を実現させるため、「旅行者」「地域」「観光産業」の3つのジャンルごとの目標を次のとおり設定します。

(旅行者に対する目標)

旅行者の期待に応える山梨

本県を訪れた旅行者が、県民や観光事業者等によるおもてなしに触れ、特色ある地域資源を活用した多彩な観光商品を楽しむことにより、感動を得て、また来訪したい、住んでみたいという期待に応える地域を目指します。

(地域に対する目標)

地域がいきいきしている山梨

私たち県民が、住んでいる地域の価値や魅力を十分に理解し、地域に対する愛着や誇りを持って生活することにより、住民同士も来訪者にも明るく接する、いきいきとした地域を目指します。

(観光産業に対する目標)

働く魅力あふれる山梨

観光産業が有する裾野の広さや地域経済への波及効果の高さを強調するとともに、観光産業の生産性向上などによる高付加価値化を推進することで、若者などを惹きつける「働く魅力」にあふれた観光産業を目指します。

2. 観光推進の視点

本計画では、計画の総合的な目標や各ジャンルに対する目標に加えて、観光産業が県経済を牽引する第2の柱となり、地域経済を持続的に支えていくために必要な要素として、次のような視点を重視して施策を推進していきます。

①観光消費額の増加

旅行者が旅行中に消費した商品やサービスの代価である観光消費額を、旅行者の満足度の向上、滞在時間の延伸、地域資源の磨き上げなどにより増加させることで、観光産業が持続的に県経済の牽引役として活性化していくことが期待されます。

②地域経済への波及拡大

観光産業は、宿泊業や飲食業だけではなく、交通事業者や土産物店などの小売業、体験やアクティビティを提供するサービス業など、幅広い産業を包括するとともに、農業や製造業とも連携しやすい幅広い産業でもあります。

そのため、地場製品の観光活用や他産業との連携強化によって、観光産業の活性化を地域他産業に波及させることで、県経済全体の活性化につながることを期待されます。

③観光産業の収益力向上

旅行者のニーズが多様化していく中で、観光事業者にはこれまで以上にきめ細やかなサービスの提供が求められるとともに、地域間競争に打ち勝つためにもその収益性を高めて行かなければなりません。

そのため、データに基づいた事業運営や、生産性の向上、観光人材の確保・育成などの取り組みによって、観光産業の「稼ぐ力」を高め、それが「働く魅力」の向上につながることで、雇用創出の面でも地域経済を牽引する存在として持続していくことが期待されます。

第6章 数値目標

本計画では、前述の本県の観光振興の総合的な目標および県経済の第2の柱とする新たな視点に基づき、本計画の最終年度である令和4年を目標年次とした成果指標を以下のとおり設定し、その達成に向けて観光振興施策を実施していきます。

やまなし観光推進計画 数値目標

	指標名	単位	基準値 (2018)	目標値 (2022)	出典
	観光消費額	億円	4,001	4,500	山梨県観光入込客統計調査

1	観光客満足度	%	41.1	50.0	山梨県観光入込客統計調査
2	観光客一人あたり 平均消費額	円	10,616	12,000	山梨県観光入込客統計調査
3	延べ宿泊客数	万人	861	970	観光庁 宿泊旅行統計調査
4	訪日外国人宿泊客 一人あたり平均消費額	円	16,063	20,000	山梨県観光入込客統計調査
5	富士の国やまなし 観光ネットアクセス数	万PV	994	1,200	富士の国やまなし観光ネットの総アクセス数（各ページのアクセス件数の総数）
6	宿泊・飲食業事業従事者 一人あたり付加価値額	万円	223	260	総務省・経済産業省 「経済センサス活動調査」 ※基準値は H28 調査結果

※観光消費額の目標値である4,500億円は、総務省「家計調査」における一人あたり年間家計消費額118万円（2017年甲府市）で割り戻すと38万人分に相当し、本県の2025年将来推計人口76万人の約半数に相当します。